

京都大学工学部 工業化学科、 令和 6(2024)年度より 110 年ぶりに「理工化学科」に学科名称変更

【概要説明】

京都大学工学部工業化学科は、基礎化学と工学を連携させて社会の課題に向き合うという学科の理念を継承するとともに、多様化した先端化学領域でのさらなる研究の発展を目指し、令和 6(2024)年 4 月 1 日より「理工化学科」に学科名称を変更します。

■学科名称変更の背景

1914 年に製造化学科を改組して設置された工業化学科の名称は、学科創設当時の社会要請である「工業」との関連性に由来します。その後設立された、石油化学科、化学工学科、高分子化学科、合成化学科などと 1993 年に統合され、現在の工業化学科に至ります。本学科は、設立以来、基礎化学に基づく創造的かつ学際的な研究により環境やエネルギー問題など地球規模の課題にまで多様化した社会要請に応えるとともに、ノーベル化学賞受賞者 3 名を含む高度かつ学際的な知識を習得した研究者・技術者を多く養成してきました。その一方で近年、「工業化学科」という名称が、学科がカバーする生命科学やナノテクノロジーなどを含む多彩な教育研究分野を反映できていないという懸念が生じていました。この齟齬を解消するために、基礎化学と工学を連携させて社会の課題に向き合うという本学科の理念を「理工」という語で示し、教育研究内容をより明確に発信するために、学科名称を、改組を経て 110 年続いた「工業化学科」から「理工化学科」に変更することになりました。詳細は、京都大学工学部工業化学科のホームページをご参照ください。

<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/divisions/undergraduate/sic>

■新学科名称

和文学科名称:理工化学科

英文学科名称:Undergraduate School of Chemical Science and Technology

- ・「**応用をやるなら基礎をやれ**」との理念のもとに、設立当初から現在まで、化学の基礎から応用にわたる分野を基盤に、社会の期待と要請に応える技術者・研究者を育成してきた。
- ・「工業化学科」は時代とともに多様化する社会要請にも対応してきたが、名称のイメージとの齟齬が拡大している。そのため、普遍的な**学科の理念を示す名称に変更する**。

【新名称】 令和6年度(2024年度)～

理工化学科

Chemical Science and Technology

(基礎)

(応用)

学科理念

基礎から応用にわたる化学を基盤に
社会要請に取り組める人材育成
技術者・研究者

